

事業概要：持続可能な野生鳥獣被害防止に向けた体制整備

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,660千円 (59,447千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	農林水産分野
目的・効果	山形県の基幹産業である農業に、鳥獣に負けずに安心して継続的に取り組むことができるよう、地域において持続可能な野生鳥獣被害防止対策のための基盤整備を行いつつ、必要な対策を実行に移す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 地域において持続可能な野生鳥獣被害防止対策のための基盤整備を行いつつ、必要な対策を実行に移すもの。 ①基盤整備として、地域における持続可能な被害防止体制に係る検討を行い支援組織の設立を目指すとともに、野生鳥獣の生息状況調査を行う。 ②必要な被害防止対策として、地域におけるツキノワグマを寄せ付けないための取組の支援及びイノシシ被害抑制のための捕獲対策の強化を行う。						
	【ソフト事業】 ○被害防止対策基盤整備事業 ・連携体制の検討経費：9,683千円 ・鳥獣に係る調査経費：2,637千円 ○被害防止対策実行事業 ・ツキノワグマ対策経費：16,750千円 ・イノシシ対策経費：30,377千円						

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県	事業推進主体		委託先等		連携市町村
				役割	名称（関係性）	役割	名称（関係性）	委託内容	
被害防止対策基盤整備事業									
1	会議開催経費、組織立ち上げのための伴走支援、被害防止体制構築 ・県、市町村、関係機関が構成員となる山形県鳥獣被害防止協議会での合意形成と持続可能な被害防止体制としての「中間支援組織」の早期設立に向けた準備の加速を図る	報償費		・全体の統括業務 ・関係者との連絡・調整	山形県鳥獣被害防止協議 （県も構成員となり協働で実施）	持続可能な被害防止体制構築に係る協議			
		旅費（費用弁償）							
		需用費							
		使用料							
		委託料					株式会社ＢＯ－ＧＡ	持続可能な被害防止体制構築に係る合意形成のための支援	
		役務費							
	調査経費 ・対策の立案・実行や分析のベースとなる科学的データ（生息状況・被害状況）を収集するための調査について、山形大学の専門家から助言を受けながら設計・手法の改良を行い、継続して実施	委託料		・全体の進捗管理 ・関係者との連絡・調整	同左		・日本野鳥の会山形県支部 ・山形県猟友会 ・（一財）山形県理化学分析センター	・カワウ個体数調査業務 ・検体採取業務 ・放射性物質検査業務	
被害防止対策実行事業									
2	市町村に対する補助金 ・ツキノワグマを地域に寄せ付けないために、集落環境の改善に取り組む地域に対して補助金を交付	補助金	自治会等	・全体の進捗管理 ・関係者との連絡・調整	各市町村	間接補助者として自治会等の取組みを支援			
	イノシシ捕獲経費 ・イノシシの生息拡大を食い止めることで、将来にわたる被害を抑制するための、イノシシ捕獲を実施	委託料		・全体の進捗管理 ・関係者との連絡・調整	同左		山形県猟友会	イノシシの捕獲業務	